

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県 稲美町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	55.01	93.42	1,970

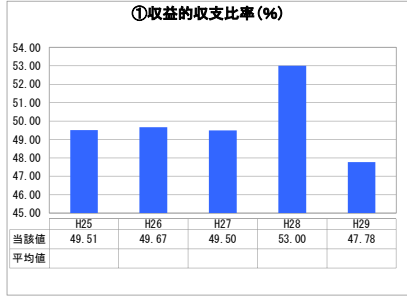
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,302	34.92	896.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,195	5.25	3,275.24

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



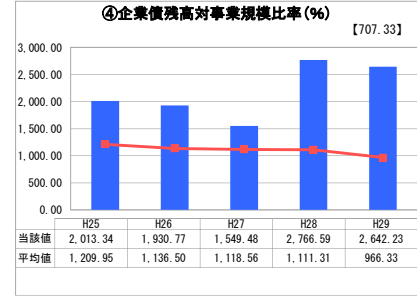
「単年度の収支」



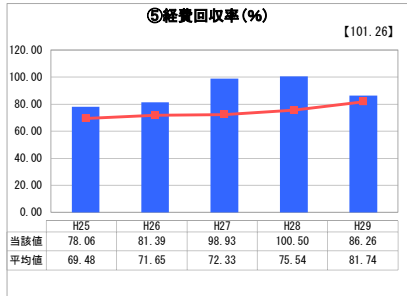
「累積欠損」



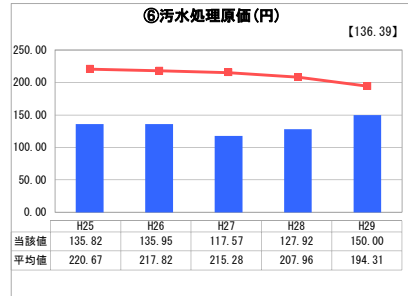
「支払能力」



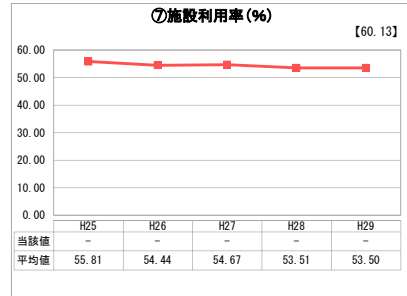
「債務残高」



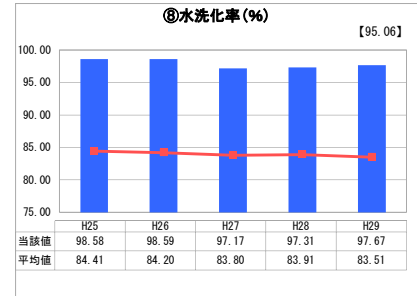
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

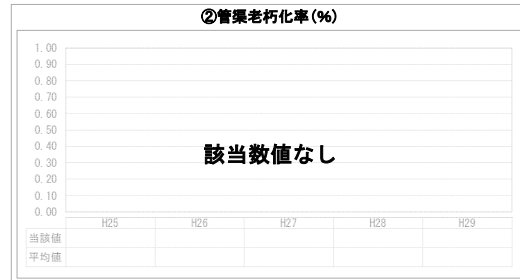


「使用料対象の捕捉」

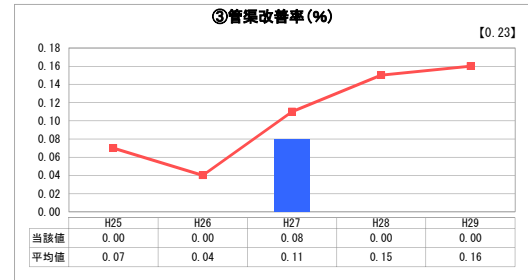
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率及び⑤経費回収率については、平成28年度に使用料改定をしたものの、大幅な改善にまではならず、横ばいで推移しています。今後、下水道管の更新費用等の増加が見込まれるため、収支状況が悪化するおそれがあります。そのためさらなる経費節減や高効率化に努めつつ、また修繕費等の維持管理費用や下水道管の更新費用等に対する適切な使用料の設定も必要であると考えられます。

④企業債残高対事業規模比率については、企業債現在高に対する一般会計負担額を見直した結果、平成28年度数値から数値が上昇しています。今後、公営企業会計適用（平成31年度予定）に伴い一般会計負担額の検討を行います。

⑥汚水処理原価については、類似団体比較において低くなっていますが、今後汚水処理に要する企業債の償還金が年々増加していることから、汚水処理費が高くなる可能性があります。

⑧水洗化率が約97%と高水準であり、類似団体比較において高くなっていますが、その一方で、今後大幅な使用料収入の増加が見込まれないことが示唆されます。

### 2. 老朽化の状況について

既設管渠及び施設、機器類に関しては、必要に応じて、清掃作業並びに躯体補強等により維持管理をしながら継続して使用していく方針です。

③管渠改善率については、下水道管の更新時期に併せて、今後増加していくことが見込まれます。

### 全体総括

下水道整備に要した企業債の償還金が年々増加していることから、引き続き経費節減と効率化に取り組み、将来にわたって下水道事業の円滑な運営を図り、衛生的で快適な生活を維持していくため、使用料の改定を検討するとともに、公営企業会計適用により、下水道事業の健全経営を目指します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。